

平成30年度第2回恵那市学校給食運営委員会会議録

1.	開催日時	平成31年2月26日（火） 午後3時30分より
2.	開催場所	恵那文化センター 多目的研修室
3.	出席委員	大畑雅幸、村松訓子、田口雅徳、石山高顕、柘植久裕、蜂谷明子、山上徳子 以上7名
4.	欠席委員	久保田芳則、林照男、坂倉和恵 以上3名
5.	事務局職員	加藤真治、成瀬浩司、安藤学、市川新祐、安藤英幸、伊藤綾子、後藤美波、 大島侑子、杉山知聡、横山未奈 以上10名
6.	提出資料	「平成30年度 第2回 恵那市学校給食運営委員会」 「資料集」の2種類
7.	議題	1) 学校給食食物アレルギー対応申請の決定について 2) 乳糖不耐症等による代替対応申請の決定について 3) 岩村・山岡・明智学校給食センター調理及び配送業務委託受託候補者の 決定について 4) 学校給食費の検討について 5) 「えないっぱい給食」の実施について 6) その他

会議の経過

事務局		定刻になりましたので、只今より開会いたします。 本日の欠席は、恵那保健所の久保田芳則様、連合 PTA 代表の坂倉和恵様、調理師協会会長の林照男様の3名となっておりますのでよろしくお願いします。 最初に会長のあいさつをお願いします。
会長		皆様こんにちは。会長を務めさせて頂いております中野方小学校の石山高顕と申します。年2回の運営委員会ということでございますが、給食に関しては大きな事は無かったと思います。日頃から各給食センターの方で細かく配慮して頂いて、うまく運営がされているおかげかなと思います。給食の提供だけでなく、業者選定とかいろいろなことを検討する会となりますので、いろいろな意見を頂いてより良い給食につながればなと思いますので、よろしくお願いします。
事務局		ありがとうございました。続いて教育長のあいさつをお願いします。
教育長		皆様こんにちは。平日のお忙しいところありがとうございます。この運営委員会に先立ちまして、学校給食食物アレルギー対応検討委員会を行いました。引き続きの委員の方は大変おつかれのところ、よろしくお願いします。今年度もほぼ終わりにきて、今年1年を振り返って見たときに、私ども教育委員会の中で給食に関わってずっと話題になってきたことは、ひとつには市

		内に4つある施設（給食センター）、特に南地区にある施設の老朽化で今後どのようにしていくかのシミュレーションで、児童生徒数の減少化で今後どういうふうにしていくのかということが話題になりました。もう一つは栄養教諭の先生には大変ご迷惑をお掛けしましたが、二学期に入った頃からお一人臨時技師さんが出産という事でお辞めになりました。ところがその後の欠員補充がずっと出来ずに、残った4人の方々にはいろいろ分担をされて乗り切って頂けたという事で、お礼を申し上げます。それから今日の議題の中の給食費についてですが、2年に1回くらいの頻度で議会の一般質問に出ます。恵那市の給食費は高いということで、私か副教育長が答弁をさせて頂いております。1食分で比較するとやはり高い。今現在県内42市町村で一番高い。二番目と数円違うということですが、おそらく理由を理解して頂ければみなさんなるほどと言ってもらえることなんです。前回の資料の中にありますが、給食費は主食費と副食費に分かれているんですね。主食は米飯で週に1回パンか麺が出ます。主食費で比較すると、恵那市は極めて安くしています。なぜ安く出来るかという、米飯を提供するには2つ方法があって、一つは自前（給食センター）で炊く方法と、業者に委託して炊いて運んでもらう方法があって、当然後者の方が高くなります。みなさんご存じのとおり給食費は食材費を保護者に負担してもらって、その他の人件費や光熱費等は市で持っています。これはどこの市町村でも同じですが、恵那市は自前で炊いて主食費を安くしています。その分副食費は高くなっています。これは地産地消を推進し、新鮮な物、安全な物を使って郷土愛を育てるという目的もあります。安い物とか外国製品を使えば安くなりますが、地元産を使うということでどうしても高くなってしまいます。これは数字に出てまいります。結果、県内で一番高いということになってしまったということです。安くしようとすれば出来ますが、保護者はこういうことをきくと理解してくれると私は思っています。こういうことをアピールさせていただきながら、来年度はさらに故郷色に力を入れていこうとしておりますので、みなさんよろしくお願い致します。今日はどうぞよろしくお願い致します。
事務局		ありがとうございました。次に恵那市学校給食運営委員会条例第3条の2項の規定による役職の異動による委員の交代がありましたので、新委員の村松訓子様に教育長より辞令の授与をお願いします。（教育長渡す）
事務局		ありがとうございました。ではこれより議題に移ります。 恵那市学校給食運営委員会条例第4条第2項の規定により会長に会議の議長をお願いします。
議長		では早速議題の方に移らせて頂きます。最初に（1）食物アレルギー対応申請の決定についてと（2）乳糖不耐症による代替対応申請については関連がありますので、併せて議題と致します。事務局の説明をお願いします。

		す。
事務局		(1) 食物アレルギー対応申請の決定についてと(2) 乳糖不耐症による代替対応申請の決定についてですが、この委員会の前に「平成 30 年度 恵那市学校給食食物アレルギー対応検討委員会」を開催しました。その中で各委員の方々に慎重審議して頂き、決定しましたので対応検討委員会の会長の方からその報告して頂きますので、よろしくお願いします。
対応検討委員会 会長		資料 5 ページ、「平成 31 年度食物アレルギー対応申請状況」により説明
議長		事務局、恵那市学校給食対応検討委員会長の報告が終わりましたので、この件について質問、意見はありませんか。
議長		特に無いようですので食物アレルギー対応申請と、乳糖不耐症による代替対応申請を決定いたします。 次の議題に移ります。(3) 岩村・山岡・明智学校給食センター調理及び配送業務委託受託候補者の決定について議題といたします。事務局の説明をお願いします。
事務局		(3) 岩村・山岡・明智学校給食センター調理及び配送業務委託受託候補者の決定についてご説明致します。 現在、岩村・山岡・明智学校給食センターは、東京都台東区に本社を構える(株)東洋食品と委託契約を交わしています。その契約が本年 3 月 31 日に切れるということで、新たな委託業者を公募型プロポーザル方式によるプレゼンテーションにより決定するということになりました。資料の 6 ページをご覧下さい。募集要項の抜粋となっております。岩村・山岡・明智の 3 つの学校給食センターの調理及び配送業務を委託するもので、委託期間は今年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの 3 年となっています。資料の 9 ページの中段 2. 選定までの経緯にありますように、昨年 11 月 1 日に恵那市の「給食」の項目に指名登録してある 12 業者に通知を行いました。11 月 29 日に山岡学校給食センターで現地説明会を行い、3 社の参加がありました。12 月 10 日に募集要項等に関する質問を受け付け、12 月 20 日に回答しております。今年 1 月 7 日から 11 日まで参加申し込み及び提案書の受付をしたところ 1 社の申し込みがありました。1 月 17 日に審査会が行われ、7 人の審査員に対してプレゼンテーションが行われました。資料の 7 ページの総合評価点による審査で、一人 100 点満点で、資料 8 ページの採点表にあるように、7 人×100 点で、700 点中 555 点、平均 79.4 点という高評価で、(株)東洋食品が選定されました。 この学校給食運営委員会でご承認いただければ、今後、4 月 1 日契約予定の委託契約に向けた準備を行っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。以上でございます。
議長		事務局の説明が終わりました。ご意見、ご質問はありませんか。
議長		特に無いようですので(株)東洋食品に決定します。

議長		次の議題に移ります。(4)「学校給食費の検討について」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。
事務局		(4) 学校給食費の検討についてご説明致します。 資料の11ページをご覧ください。これは、昨年9月に各務原市が県内の各市に対して「給食費の状況等調査」を行ったものです。ご存じのとおり今年10月1日から消費税が8%から10%になります。資料10ページの資料にあるように、一般家庭や学校給食などの食料費は軽減税率の対象となっておりますので、基本的には現状のまま変わりません。それを見越しての質問内容になっています。質問の7以降が消費税アップによる値上げに関するものになっています。質問7が給食費の改定があるか。またその時期はいつか。となっています。そのほとんどが「予定無し」又は「検討中」との回答ですが、大垣市、瑞浪市、飛騨市が値上げを予定していると回答しています。大垣市、飛騨市はセンター長会議の場で給食食材の値上げで現在の給食費ではきびしいと発言しており、瑞浪市は前回の5%から8%に上がった時には改訂していないことからの値上げだそうで、3市とも8%から10%に上がることに関しての値上げではないようです。恵那市も検討中と回答しておりますが、現在小学校が岐阜県下で一番目、中学校が2番目に高い給食費となっておりますし、給食食材も軽減税率の対象で直接影響してこないと予想されますので、今回は現状のまま据え置きでいきたいと考えております。今後、食材費が値上げとなり、厳しくなってきた場合は検討するということにしたいと思いますので、よろしくお願いします。以上でございます。
議長		事務局の説明が終わりました。ご意見、ご質問はありませんか。
議長		特に意見は無いようですので、今回の給食費の値上げは見送りという事で決定したいと思います。
議長		次の議題に移ります。(5)「えないっばい給食の実施について」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。
事務局		(5)「えないっばい給食」についてご説明致します。 資料の14ページをお願いします。 恵那市では、現在地産地消を推進するために毎月1回「ふるさとの日」として恵那市産、岐阜県産の農産物を給食の食材として提供しています。平成31年度はこのうち3回を野菜、果物などを私たちが住む恵那市産の食材をさらに多く使用した給食を提供することにより「食」に対する感謝の心を養うとともに、農家の方が大切に育てた新鮮でおいしい食材への理解を深め、市内で生産されている食材を広くPRすることを目的としています。 さらに、小坂市長が重点を置いている「はたらく・たべる・くらす」の中の「たべる」に該当し、主要事業の一つにもなっています。 費用は、現在保護者から徴収している給食費に1食当たり300円を上乗せ

		します。 300円の根拠として、資料にもありますように昨年一年間のふるさとの日、給食週間の1食当りの単価を算出したところ、小学校でプラス44円、中学校でプラス55円でした。そこで、さらに地元産食材費を増やすということで、食材費にプラス100円。目玉として地元の食材、果物を使用したデザートを開発し、提供するというでデザートにプラス200円。計300円としています。実施回数は年3回とし、実施月は6月、11月、1月としています。ただし、気候等により変動があります。 献立は、季節ごとに生産された恵那市産の食材を中心においしい給食を提供します。恵那市で生産されていない食材は、できるだけ岐阜県産を使用していきます。参考として、昨年1年間に各給食センターに納入された食材と、他市の状況を載せています。以上でございます。
議長		事務局の説明が終わりました。ご意見、ご質問はありませんか。
教育長		年3回実施するということだが、保護者には何かアピールはするのですか。
事務局		資料を作って配布したり、給食カレンダーにも「えないっばい給食の日」と載せて宣伝します。
教育長		子供が給食を食べて、家に帰って、保護者が「今日は特別な給食だったね、どんな給食だった」というように、何か会話をしてくれる目的にした方がいいよね。
事務局		地元野菜がメインの献立だと普段とあまり変わらないので、地元食材を使ったデザートが目玉になるのではないかと考えています。子供が今日こんなデザートが出たよと言ってくれるのではないかと考えています。できるだけ恵那市の物ということで、簡単なものと栗きんとん1つでもいいと思います。1つが200円するそうですが、他にもゆずとか寒天とか、苺を使って工夫していけたらなと考えています。
委員		明智のふるさとメニューにジビエカレーがあるのですが、鹿肉を使うと書いてありますが、高価じゃないのですか。どこから仕入れるんですか。
事務局		実は農政課から話があったのですが、ジビエを使ったメニューを提供したいと話がありました。
委員		初めての試みですね。
事務局		3月18日だったかな。鹿肉をカレーの中に少し入れて、他に豚と牛も混ぜて、ジビエの明智だけのメニューです。まず試験的にやってみよう。
委員		予算的には大丈夫ですか。
事務局		予算的には、給食費の範囲内で考えています。
委員		給食の牛乳がアレルギー対応で白川茶になっていますが、白川茶の方が単価が高くないですか。こちらも予算は大丈夫ですか。
事務局		牛乳の代替えですので、給食費の範囲内で対応しています。
事務局		ふるさとの日の給食も単価が上がっていますが、どこかの給食でバランス

		を取るようにメニューを考えていますし、1年間を通じて給食費の範囲内で収まっています。今回のえないっぱい給食は、それ以外のお金を市からもらうことになっています。
議長		他はどうですか。無いようですので（6）その他について事務局からなにかありますか。
事務局		事務局からは特にありません。
議長		事務局からは特に無いようですので、他の委員の方、せっかくの機会ですので、なにか意見があったらお願いします。
議長		柘植先生、何かありますか。
委員		この前ネットで見たのですが、給食の完食の強要が出ていたのですが、恵那市はこういうのはありますか。これが原因で不登校になったりとかこういうのはどうかと思います。
教育長		こういうことを掴んでいる？
栄養教諭		毎年6月と11月に残量調査があつて、県の方に報告する事になっていますが、その期間中によく委員会とかで残量調査キャンペーンとかいって、子供達に残さず食べるよと委員の子が声をかけて、残さずに頑張るというようなことはどこの学校にもあると思いますが、それ以上のことは先生にも聞いたことはありません。
教育長		自分も長いこと恵那市にお世話になっていますが、聞いたことはありません。
委員		反対に行きたくないけど、見たら明日はラーメンやでやっぱり行くとか、ムース大福やで行くとか、反対の方がよく聞きますね。
委員		こんな協会があるそうです。「日本会食恐怖症克服支援協会」
委員		強要するから行きたくないというのがあるかもしれないけど、蜂谷先生が言われたとおり、今日は〇〇が出るから楽しみという声も聞くし、家庭の状況も二極化ですので、決まった量を食することで3食分の1食を食べれるというのは、いろいろな栄養素が取れるのでありがたいと思います。なんでも好きにすればいいという風潮がある中で、こう考えるからこうしているというふうに考えてやっていけばいいかなと思っています。やはり子供が食べれないと言うときには配慮することも大事かなと思いました。
副会長		この前プロポーザルがありましたよね。そこでいろいろ改善点を要望しましたよね。その後どうでしたか。
事務局		4月から新しく運営されますので、それに向けて業者も取り組んでいると思います。当然年度途中で改善することもありますけど、この前の提案書の中には、今までやっていないこともやっていこうという前向きな考えでしたので、それに向けてやっていると思います。
副会長		前最初に東洋食品さんが本社の方から山岡にいらっしゃっていて、その方

		が責任者でやってみえて、みなさんの声で変わったなという声を聞いたことがあるんですね。その方がいなくなったという事も聞いて、提案があつてこういうことも改善してほしいという声も聞きましたので、ちゃんと改善されるようにしていただけるとありがたいなと思います。
議長		他にありませんか。無いようですので閉会の言葉を田口副会長お願いします。
副会長		これをもちまして、第2回学校給食運営委員会を終了させていただきます。お疲れ様でした。

平成 31 年 3 月 12 日調整